



CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY REPORT 2019

目次

CSRレポートの発刊にあたって	p.2
1. 大東化成グループ概要	p.3
1.1. 事業内容	p.3
1.2. 組織	p.3
2. CSR コミットメント	p.5
3. お客様価値	p.5
3.1. 顧客満足度	p.5
3.2. 品質管理システム	p.6
4. 環境と持続可能な社会への貢献	p.6
4.1. 環境	p.6
個別の取り組み	p.6
4.2. 持続可能な社会への貢献	p.7
CELLULOBEADS (セルロビーズ)	p.7
RSPO 認証	p.7
サクラン	p.8
備長炭粉末	p.8
「笑顔の森」森林保全活動	p.8
COSMOS NATURAL 製品配合承認原料	p.9
天然由来製品	p.9
5. 社会とのコミュニケーション	p.10
5.1. ステークホルダー	p.10
5.2. 所属団体	p.10
6. 人権	p.11
7. 社員教育	p.11
8. 安全と衛生	p.12

CSR レポートの発刊にあたって



はじめに、全世界で拡大する Covid-19 でお亡くなりになった方々、そのご家族に心より哀悼の意を表します。また、私たちのために日々奮闘してくださっている、医療関係従事者すべての皆さまに、心より感謝申し上げます。

世界中の情報がすぐに伝わる時代ということも関係していますが、異常気象、環境破壊、感染症、人種差別、格差社会など、世の中は不安定、しかも複雑で、世界中の多くの人は、自分自身、子供たちの将来に不安を持っていると思います。

幸せで充実した人生を送るためには、将来の夢と希望が必要です。

大東化成グループの製品の多くは、「美」と直結する「化粧品」で使用されています。

化粧品は、人々の気持ちを安らかにするだけでなく、元気と勇気を与え、笑顔の輪を広げます。その笑顔は間違いなく将来の夢と希望につながります。

私たちは、「誠実・謙虚・挑戦」の会社方針を軸とし、「事業の透明性」、「社会と企業の持続性」を念頭に置き、精力的に「地球にやさしい新製品」を開発し、化粧品原料製造 GMP に沿った生産、品質管理で安全で安心な製品をお客さまにお届けします。

私たちは、たくさんの笑顔を広げるために努力を惜しみません。

代表取締役社長

脇 祥哲

1. 大東化成グループ概要

1.1. 事業内容

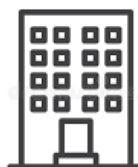
大東化成工業は、1950年に大阪で設立された日本の民間企業です。
私たちは、化粧品原料、樹脂、インキを製造・販売しています。

そのうち化成品部門（化粧品原料）の売上が、90%を占めています。
化成品部門は、化粧品原料として表面処理粉体、感覚や視覚効果を提供する調整剤や乳化剤などの特殊原料を製造・販売しています。

私たちのお客様は、小規模メーカー様から世界的な多国籍企業まで多岐にわたります。



4つの製造拠点（日本）
1つの製造拠点（フランス）



2つの販売子会社
（中国及びフランス）

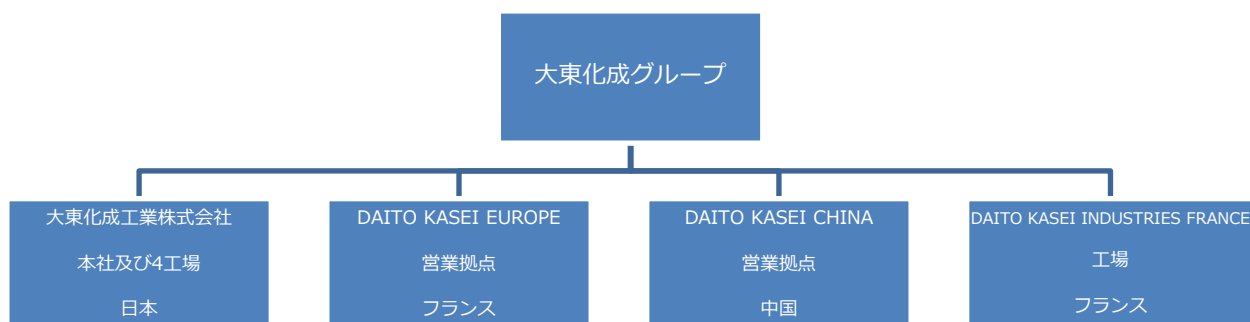
販売、流通、製造の各事業を通じて、私たちは世界50カ国以上で事業を展開しています。



4つの処方配合室



1.2. 組織



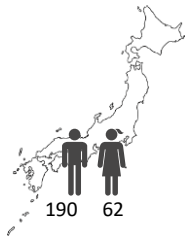
従業員・研究開発・生産量・サプライヤー数・地域別販売比率



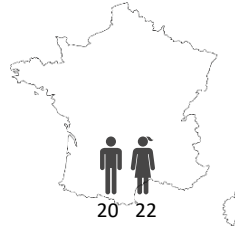
301 従業員数（正社員・非正規含む）

12月31日現在における大東化成社員の地域別・性別内訳

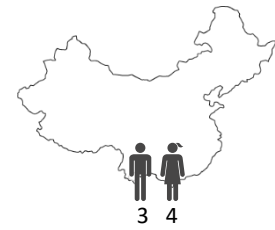
日本 85%



フランス 13%



中国 2%



約 3 億円 研究開発費用

研究開発は主に日本で行われます。また大学などの研究機関と協力して共同開発も行っています。

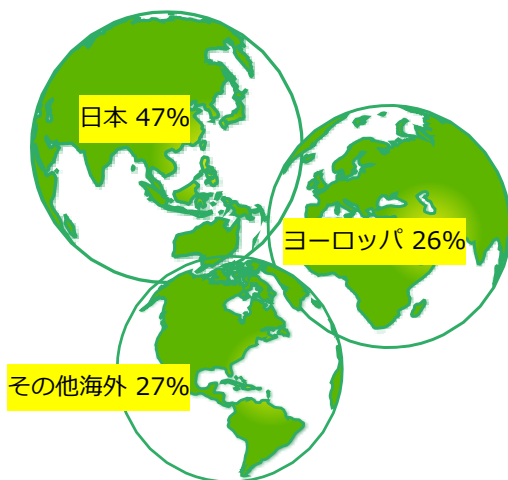


約 3,000 トン 超える生産量



200 を超える 世界におけるサプライヤー数

地域別販売比率



日本は大東化成グループの売上の約半数を占めており、ヨーロッパは 2 番目に売上の大きなエリアとなります。

2. CSR コミットメント

私たちの CSR 活動への取り組みは、次の4つの基準書に基づいています。

Code of ethics (倫理)

Environmental policy (環境)

Risk management policy (リスク管理)

Responsible purchasing policy (調達)

これらの基準書は、国連のグローバルコンパクトの10の原則に基づいて作成されています。

また、CSR の主要な要素である、企業倫理、労働、人権、環境、持続可能な調達における私たちの基本的な行動指針を明らかにしています。

3. お客様価値

私たちの CSR 活動に対するお客様の評価は、今後の事業の発展やお客様との継続的な信頼関係を可能にするために不可欠であると考えています。

3.1. 顧客満足度

私たちは、国際的な CSR 活動の評価のためのプラットフォームである EcoVadis 及び Sedex の会員となっており、CDP への回答も行っております。お客様は、この評価結果にアクセスいただくことにより、評価結果を共有することが可能となります。また第三者機関による事業所単位での CSR 監査を受けており、個々のお客様からの CSR アンケート調査に協力しています。

2019年9月には、当社の主力工場である福井工場において第三者による CSR 監査が実施されました。人権、健康と安全、労働条件など社会性に関する項目と法令順守、環境マネジメントシステム、廃棄物、排水処理、エネルギー消費、CO₂ 排出量などの環境に関する項目に関する2日間の監査を受けました。監査の結果ほとんどの項目に対し適切との評価を受け、特に環境に関しては10点満点中9.9点の高い評価を得ました。

参考 EcoVadis : 包括的な企業の社会的責任評価サービス

環境、労働慣行と人権、倫理、持続可能な資材調達の4分野について評価を行う

CDP : 企業に対し気候変動への戦略や温室効果ガスの排出量の公表に対する評価を行う

Sedex : サプライチェーンにおける労働実務に関するリスクを管理するための評価を行う

3.2. 品質管理システム

適正な品質管理は、業務の透明性や円滑な運営を可能にし、廃棄物の発生量減少、エネルギー消費量減少、労働時間の削減等の資源の有効な利用や労働環境に影響を与えます。品質管理は、CSR 活動を行っていく上での基本ベースになるものと認識しています。また、お客様をはじめとしたすべてのステークホルダーの利益につながると考えています。

日本では、従来より ISO9001 を取得していた事業所に加え全事業所を対象として、2019 年 2 月に ISO9001:2015 認証を取得しました。また本年度より EFCI 認証（欧州化粧品原料製造に係る GMP）の取得に向け、準備をスタートしました。

今後はこの国際規格に基づいて、システムの改善を行い、信頼性と顧客満足度を高めるため定期的なレビューを行い、行動計画を立案してまいります。

4. 環境と持続可能な社会への貢献

持続可能な社会への貢献は私たちの果たすべき使命です。
特に環境に関する取組みはその根幹となるものと考えています。

4.1. 環境



大東化成グループのすべての生産施設を設置している自治体と各自治体の定める法令（条例）に基づいた環境・公害についての協定を結び、工場を稼働させております。各自治体からは定期的にこれらが順守されているかどうかの監査を受け、全ての生産施設が本協定に順守していることを確認しています。それに加え日本では 2019 年に消防法、大気汚染防止法、PRTR 法、廃棄物処理法、省エネ法などの環境関連法令に対する全社的な順守状況の調査を行いました。その結果大きな問題は発見されませんでした。記録の保管等、改善すべき点が発見され、直ちに是正を行いました。今後も定期的に順守状況の調査を行い、さらなる改善への取り組みを継続します。

個別の取り組み

フランスの販売現地法人 DAITO KASEI EUROPE では、使用するすべての電力は再生可能エネルギーを使用しています。また製造拠点 DAITO KASEI INDUSTRIES FRANCE では、天然ガス使用に関するカーボンオフセットを行っています。

日本では、全事業所において照明の LED 化を順次進めており、2021 年までに完了の予定です。

4.2. 持続可能な社会への貢献

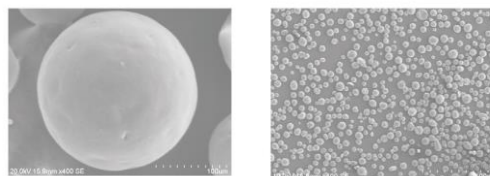


CELLULOBEADS（セルロビーズ）

20世紀初頭から石油化学の発展と共に、数多くの合成高分子（プラスチック）が生み出され、人々の生活を支えて来ました。その生産量は世界全体で現在3億トンを超えています。しかしながら、このプラスチックによるゴミは、世界中の海に広がり、環境汚染や生態系への悪影響を引き起こしています。特に国連環境計画（UNED）がマイクロプラスチックとして定義した直径5ミリ以下のものは、世界中で5兆個以上あると言われています。魚や鳥が間違えて飲み込む事例が多数報告されており、生態系への影響が確認されています。また、マイクロプラスチックは殺虫剤や難燃剤などの有害物質を高濃度に吸着する性質があり、食物連鎖により人にも影響を与えます。その対策として、各国において使用制限や、代替えとなる海洋分解性を有するものの開発が行われています。

ここで紹介する“CELLULOBEADS”は、海洋分解性のあるセルロースを用いた球状粒子であり、元原料に木材を使用しており、自然由来の製品となります。

“CELLULOBEADS”については、既に海洋分解性を持つマイクロプラスチックの代替品として市場展開を行っていますが、今後はさらなる設備投資を行い、生産量を増強していく予定です。



RSPO 認証

アフリカ原産のアブラヤシから得られるパーム油は、加工食品、医薬品、化粧品、洗剤などの消費財からバイオ燃料などへ幅広く利用されており、世界では約7千万トンが生産されています。これは20年前の約2倍の生産量です。この為アブラヤシ農園は急速に拡大しましたが、不適切な農園管理などで環境に深刻な影響を与えています。森林破壊、保護価値の高い自然林や泥炭湿地の消失、生物多様性の損失、児童労働などの問題が発生しています。

当社の使用する原料にもパーム油を元原料とするものがあります。私たちは環境維持活動及び人権擁護を支持しており、2019年3月にはRSPO SCC 認証^{*2} (Mass Balance)を取得しました。適正な原料を使用した製品を化粧品メーカー様へ供給してまいります。

^{*2}RSPO SCC 認証：持続可能なパーム油のための「原則と基準」に元づいた認証制度で、当社はサプライチェーン認証を取得しています。

サクラン



サクランは、阿蘇山麓に限られた清らかな湧水でしか生育できない「スイゼンジノリ」にのみ存在する天然多糖類です。驚くほどの保水力をもつその成分は、肌にうるおいを与えるだけでなく、肌を保護する被膜を作る特殊なものです。

しかしながら、スイゼンジノリは絶滅危惧種にしてされており、その生育の為に清らかな水が欠かせない植物です。

私たちは、「スイゼンジノリ」の生育ができる環境を増やす努力も地元の方々と一緒に行っています。

備長炭粉末

山の木々は人が手を入れないとなかなか育ちません。木が成長していく過程で人が手を入れることにより、山を生き、緑を生きることができます。紀南地方に群生するウバメガシをはじめとする広葉樹林は地域の治山、治水、自然保護に大きく貢献しています。



樹木をそのまま燃やして燃料にするのではなく、一度蒸し焼きにして木炭を作ることによって煙や炎を出さず火力が持続し、しかも保存のきく燃料は世界各地で開発されました。この技術は当時の人類にとって一大燃料革命でした。日本への炭焼き技術は、空海が9世始めに中国（唐）から最新の技術を持ち帰り日本各地に広がったといわれています。



その後紀州では、長年にわたって広葉樹林の保護育成を行いながら炭焼き技術の開発が重ねられ、世界で類のない硬質炭である備長炭の製造技術を完成し現在に至っています。備長炭の硬度は驚くほどで、アルミニウムやステンレスよりも硬くダイヤモンドに迫る硬さを持っていることが知られています。備長炭粉末は紀州備長炭を原料とし、カーボンブラックなどの石油製品ではなく自然由来の粉末であり、私たちは備長炭粉末を原料とする製品を開発し、市場に展開しています。

「笑顔の森」森林保全活動

2017年私たちは和歌山県の森林保全活動である「企業の森」活動に参画しました。



この活動は、「伝統的な知識保存の促進」「伝統的な知識保存の促進」「地域価値の創造」「森林の保全を通じて環境を守る」を目的としており、森林の保有者、和歌山県や市町村、森林組合と企業が一体となってそれぞれの役割を分担し豊かな自然を維持育成していく活動です。活動に共感し参画した企業・団体は現在 80 以上となり広大な森林の維持育成が行われています。

私たちは、田辺市に 2.53ha の森林を「笑顔の森」として活動を開始しました。2018 年 5 月には、日本の従業員だけでなく、フランスや中国の拠点の従業員も参加し、県や市や森林組合や関係会社や住民の方々にも参加していただき植樹活動を行いました。皆さんとの交流は特に印象深く、美しい自然を満喫するとともに皆さんに対する感謝の気持ちで一杯になりました。

2019 年 9 月には、福利厚生の一環として従業員とその家族の参加のもと「下草刈り」活動を行いました。今後も定期的に活動を行い、皆さまとの交流を行って行きたいと考えています。

また、この笑顔の森には 3,000 本のウバメガシをはじめとした合計 6,000 本の広葉樹が植林されており、その生育によって将来的には年間 10,700kg の二酸化炭素を吸収する森となります。



COSMOS NATURAL 製品配合承認原料

COSMOS NATURAL 認証は、生物多様性を尊重した製品に与えられる認証です。当社では、以前より同様の認証である ECOCERT NATURAL に配合できる承認原料を増やしています。過去 3 年間の承認数は以下となります。

	2017 年	2018 年	2019 年
ECOCERT	66	60	60
COSMOS	28	36	60
承認数合計	94	96	120

天然由来製品

既述のように私たちは天然由来原料の使用及び製品の開発を継続して行っており、持続可能な社会の実現のために企業が果たすべき役割であると考え継続して取り組んでいます。詳細は、当社ホームページの製品情報 (<https://www.daitokasei.com/product/chemical.php>) をご覧ください。

5. 社会とのコミュニケーション

5.1. ステークホルダー



私たちは事業を行う中で、様々な企業や人々との関わりを持ちます。それらにはすべて利害関係が備わっており、うまくバランスをとらなければ利益や信頼を得ることができないと考えます。私たちは法令を順守し、相手や社会への配慮を欠かさない事業活動を行ってまいります。

以下の図は、私たちが重要と考えるステークホルダー（利害関係者）となります。



5.2. 所属団体

私たちは、下記の団体に所属しています。

- * 大阪商工会議所
- * 社団法人大阪府工業協会
- * 日本化粧品技術者会
- * 西日本化粧品工業会
- * EFfCI – 欧州化粧品原料連合(DAITO KASEI EUROPE)
- * コスメティックバレー(DAITO KASEI INDUSTRIES)
- * 大阪商工会議所による CSR workshop
- * 天満労働基準協会
- * 一般財団法人 全国危険物安全協会
- * 一般財団法人 全日本交通安全協会

6. 人権



企業活動の担い手である従業員の人権を守ることは、公正な企業運営を行うために欠くことのできないものです。年齢、性別、障害、人種等に関係なく、全ての従業員が公正で平等な待遇、地位、職場環境を得てこそ、能力を発揮することができます。

当社では従業員の人権を守る為、以下の施策を行っています。

- ・ 全ての労働関連法令の遵守
- ・ 性別、人種、障害の有無によらない給与体系
- ・ ハラスメント・社内苦情に関する相談窓口の設置
- ・ 仕入れ先様よりの苦情相談窓口の設置
- ・ 利益相反、贈収賄に関する社内規定の整備と周知
- ・ 産業医との面談制度（希望者対象・職場環境等）
- ・ ユースエール認定基準の維持

また以下には、育児休業取得者の推移を示します。

育児休業取得者の全員が、元の職場に復帰しています。

	2017年	2018年	2019年
育児休業取得者数	4	1	2

7. 社員教育



従業員が仕事を通じ成長していく環境を作ることは、従業員が能力を高め、満足度を得ることにつながります。また企業の成長のためには、従業員の成長が不可欠であることは疑問の余地のないことです。

当社では、主に以下のような施策を実施しています。

入社時研修：新卒・中途入社者に対し、会社規定・ハラスメント・安全衛生・ビジネスマナー等
入社後4週間の配属部署におけるフォローアップ

語学教育：業務上必要とされる社員に対し、英会話及びフランス語会話研修（週1回）

社外研修：所属団体が実施する化粧品技術基礎講習会などへの参加

資格取得者への報償：危険物資格、衛生管理資格、情報処理資格取得者に対する報償の実施

人事評価面談制度：一般従業員を対象とし、上司又はリーダーとの面談を6か月毎に実施し、コミュニケーションを図りながら従業員の育成を実施

その他セミナー・展示会など、従業員のスキルアップに必要な教育・情報収集の場への参加を奨励しています。

8. 安全と衛生



安全で健康的な環境は、すべての従業員にとって基本的な権利であり、安定した効率的な運用を確保するために不可欠です。

大東化成グループは、労働時間に関する現地の規制を順守しており、製造部門は、7.5時間の2回または3回のシフトで稼働しています。

化学物質は工場では取り扱われますが、技術的な安全対策、適切な保護具の着用等により作業環境の安全を確保しています。また製造現場で使用する原材料のSDSは使用する場所ごとに備えており、従業員はいつでも閲覧することができます。

新製品の製造や新設備の導入に関しては、リスクマネジメントを行い、従業員または環境に危険を及ぼす可能性があるかどうかを判断しています。

職場の化学物質、それらの保管場所、保管されている量についてはリストを作成し、適切に管理しています。また化学物質または状況への暴露を可能な限り低レベルに制御しています。

労働災害の発生状況は以下となります。

	2017年	2018年	2019年
職場での事故件数総数	3	0	1
そのうち傷病休暇を伴う事故件数	1	0	0

日本では50人以上の事業所に対し、産業医の任命が義務づけられていますが、50人未満の事業所である福井工場及び東大阪工場においても、産業医による巡視を実施し職場の安全衛生に取り組んでいます。